

**令和元年度第2回
岐阜県科学技術振興センター指定管理評価員会議 結果概要**

○日 時：令和2年3月3日（火）～ 令和2年3月19日（木）

○場 所：書面開催

1 令和2年度事業計画について

【指定管理者】説明

○主な質疑応答・意見・感想等

【評価員】予算の総金額に対する外注費が44.5%と多いが、指定管理者の蓄積での維持管理業務の実施は難しいのか。

【指定管理者】保守に関しては基本的に自社で実施するが、専門的業務に関してはメーカーに保守を依頼している。

【評価員】中学生向けのイベント計画はないのか。この地域は小学生でもそのレベルを求めているのではないか。

【指定管理者】今までのイベントでアンケートやお客様の声をもとに、イベントに参加できる層が小学4年生までとなっている。小学生高学年になると塾やスポーツクラブなどの習い事への参加も多く、また中学生は部活動があり確実に施設周知できる小学生低学年向けイベントを実施したいため、中学生向けイベントは現状計画していない。

【評価員】駐車場の管理、庭の樹木の手入れが行き届いていること、食堂の清潔感等は、来場者に好印象を与えると思う。

【評価員】科学技術に対する研究開発・産学官の交流及び県民に対する情報提供、平等・公平な管理運営、利用者の声を対話の中から意見やヒントを積極的に集める地道な活動、スケールメリットを活かし、コスト削減に努めている等、運営に関しての向上心が感じられる。

【評価員】災害時、緊急時の対応に関しては、前回の会議で説明を受けて今回も同様の訓練を実施すれば、災害時対応は十分だと考える。

※質疑終了後、各評価員から令和2年度事業計画書について、適当である旨の評価をいただいた。